

韓国大統領と会談 慰安婦問題早期解決で合意

【ソウル三十日】黒田勝弘。席上、金大統領は「かねてから日韓関係は最も重要な問題である」と述べた。慰安婦問題について「われわれは前政権と違って自助の努力で臨んでいる。両国関係の発展と双方の国民の信頼関係を築くため早期解決を望んでいる。日本政府の真相究明によって韓国民を納得させられると思う」と述べた。これに対し武藤外相は「誠意をもって調査した。」

の理解を求めた。また北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）との関係について、金大統領は「核問題での日本の全面的協力に感謝している」と述べ、核およびミサイル問題での日本との緊密な連絡を約束し、武藤外相も日本の確固たる非核政策を説明しながら共同対処の必要性を強調した。

金大統領は席上、日本の政治情勢に強い関心を示し、総選挙の行方などが話題になった。

「慰安婦」早期解決求める 韓国大統領 武藤外相と会談

【ソウル三十日】石崎浩

韓国訪問中の武藤嘉文外相は三十日午前、ソウル市内の青瓦台（大統領府）で、金泳三大統領と約四十分間会談した。金大統領は「日本との関係は（韓国にとって）最も重要な関係だ」と述べ、同政権が掲げる日本重視の外交姿勢を強調した。

統領はさらに、「自分は前政権と違い、この問題でも自助努力をもって臨んできた」とも述べた。これに対し、武藤外相は、改めて政府として謝罪の意を表明したうえで、「（できただけ早く、事実関係をはっきりさせ、日本の立場を公にしたい）」と答えた。

そのうえで、大統領は従軍慰安婦問題について「韓日関係を、未来志向的に持つて行くうえで、避けて通れない問題だ。ぜひ早く解決したい」と述べ、真相究明を改めて求めるとともに、「日本が真相究明を行うことで、韓国国民を納得させることができるとの考えを示し、

さらに、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）の核開発疑惑問題については、日韓両国が米国の協調し、北朝鮮に①核拡散防止条約（NPT）脱退の完全撤回②国際原子力機関（IAEA）の特別査察受け入れ——を強く要求する方針を確認。これと関連し、北朝鮮が核弾頭搭載可能な中距離弾道ミサイル（労働（ノドン）号）の試射実験に成功、ミサイルの輸出も計画しているとされる問題も、両国が北朝鮮に対し密接に連絡を取りあっていることで一致した。（関連記事2面に）